

2025年8月31日 聖霊降臨後第十二主日礼拝説教
「低きより眺める御国」(ルカ14章1～14節)

○ルカ14章7節のみことば

「イエスは、招待を受けた客が上席を選ぶ様子に気づいて、彼らにたとえを話された。」

この日は、安息日であったが、招かれた人々は、だれも、神の子イエスに上座をすすめず、お互いに譲り合うこともなく、われ先に、よりよい席につこうとした。

☞弟子のヤコブとヨハネも、御国の上席を願い求めた。(マルコ10章35-37節 参照)

「婚宴に招待されたら、上席についてはならない。」(8節)

☆キリストは婚宴の話を用いて、神の国についても語られた。(ルカ14:15-24, マタイ22:1-10 参照)

婚宴にも譬えられた神の国では、己を誇り、人を出し抜く者は、喜ばれない。

今日のみことば：ルカ14章10節

「招待しょうたいを受けうたら、むしろ*末席まつせきに行いって座すわりなさい。」 *最も後ろにある席

父なる神からの招きに従った救い主イエスは、十字架という末席につき、わたしたちより低き者とされた報いとして、神の裁きを受け、惨めに死んでいかれた。

※神は、陰府に降りしキリストを復活させ、天に引き上げた。(フィリピ2:6-11 参照)

「そうすれば、その人たちはお返しができないから、あなたは幸いだ。」(14節)

キリストは、みことばどおり、人からの見返りを求めず、お返しできぬ者だけでなく、すべての人のため十字架の上で死なれ、神の国に至る救いの道を開かれた。

*聖書翻訳本文は日本聖書協会『聖書 新共同訳』からの引用です。